

鹿角市部活動地域移行検討委員会

令和6年度 第2回スポーツ分科会資料

令和6年11月21日（木）

鹿角市教育委員会

目 次

- (1) アンケート結果について P. 1~14
- (2) 地域移行に向けた問題点について P.15~20
- (3) 検討委員会への報告について P.21~22

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

期間：令和6年8月23日～令和6年9月20日

方法：オンライン回答または紙媒体での回答

対象・回答：【専門部】回答20名

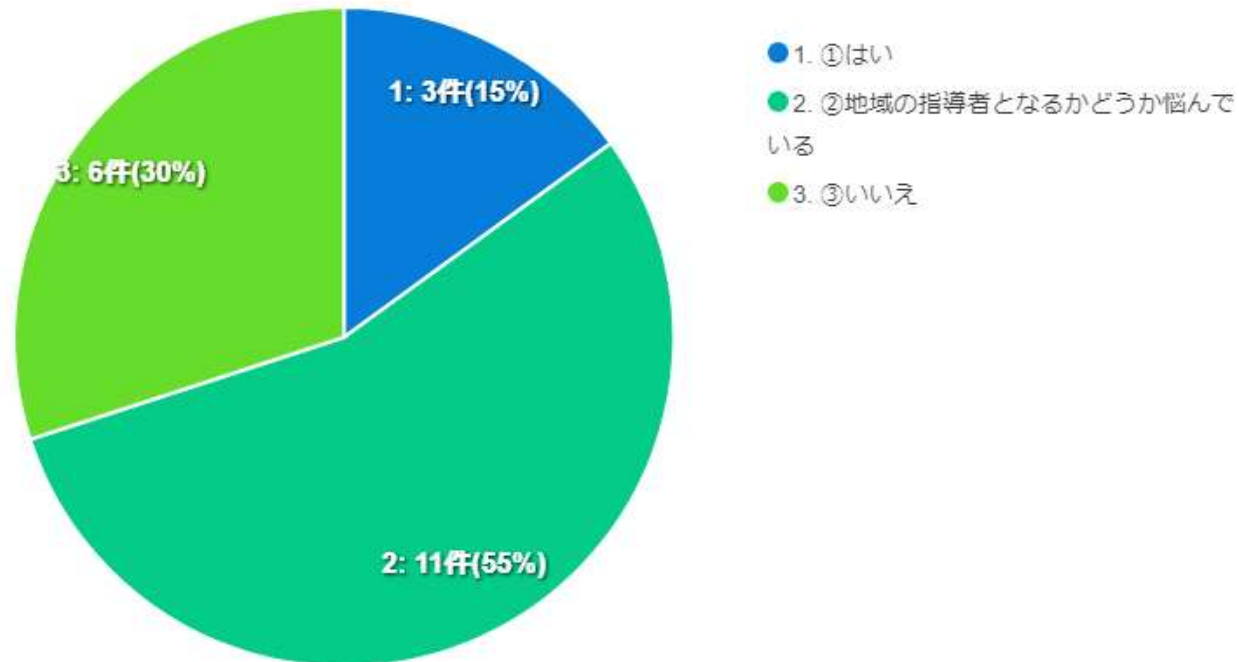
Q1.専門部

- ・ 剣道
- ・ バスケットボール
- ・ 野球
- ・ スキー
- ・ バレーボール
- ・ 無記名

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

Q2.地域に移行した際に、あなたは指導者として関わりたいと思いますか？



(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

Q3.Q2で「はい」と答えた方にお聞きします。どのような理由で希望しますか？（複数可）



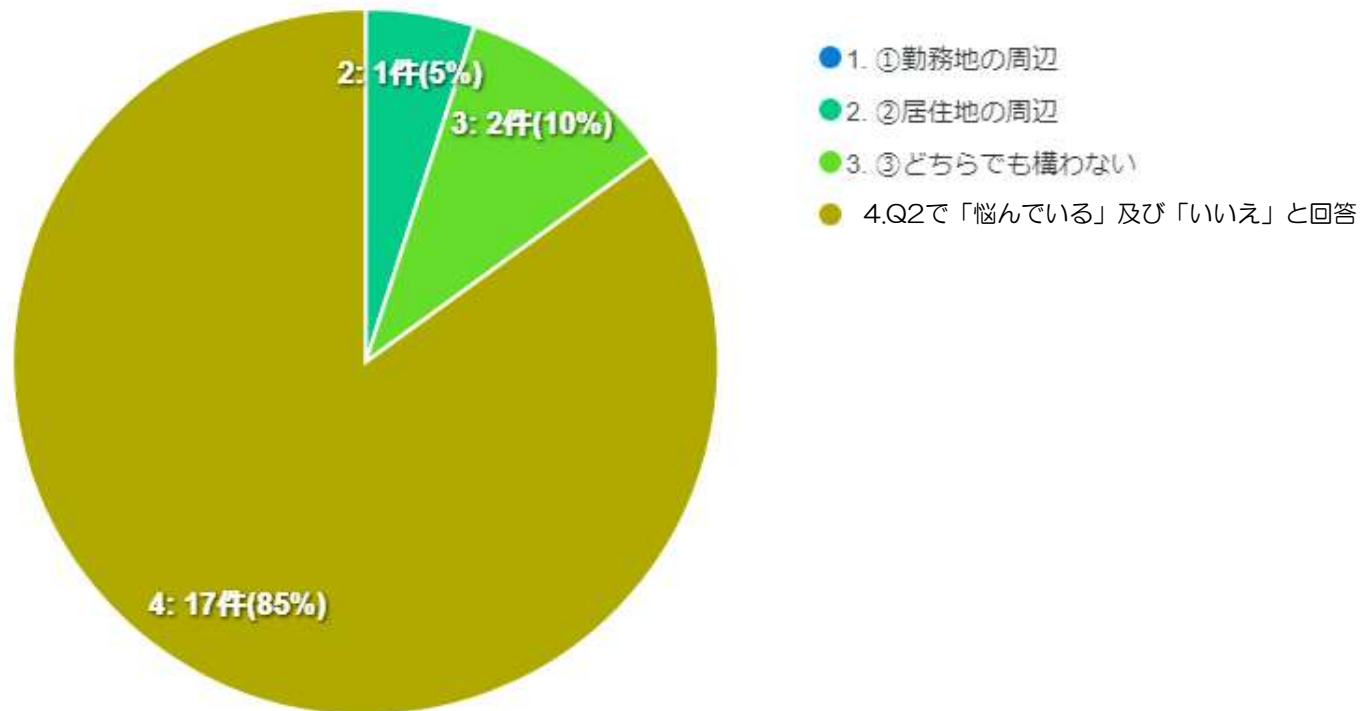
【その他】

○現在もスポ少に携わっているから

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

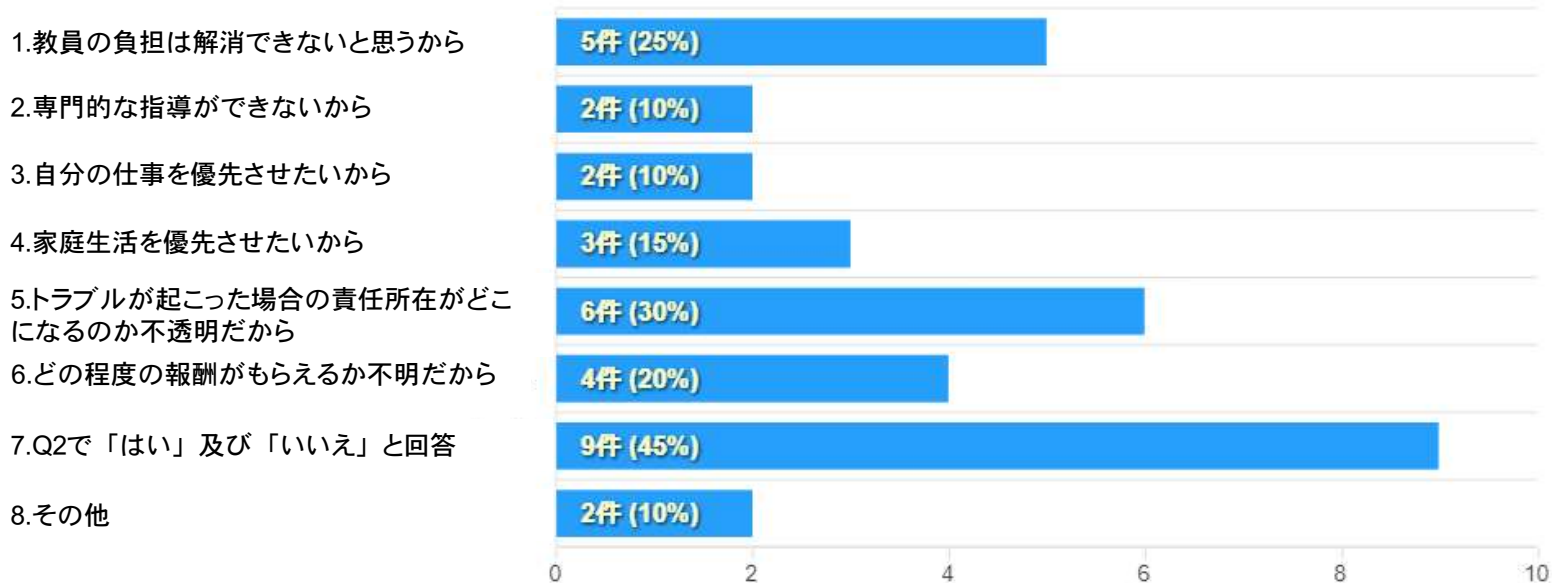
Q4.Q2で「はい」と答えた方にお聞きします。学校部活動以外で指導をする場合は、どの場所で指導を希望しますか？



(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

Q5.Q2で「②地域の指導者となるかどうか悩んでいる」と答えた方にお聞きします。地域移行について何か不安や懸念がありますか？（複数可）



【その他】

○「地域の指導者」がどのような立場や待遇であり、何を求められていくのかがまだ決まっていないため。これまでの部活動運営とほとんど同じようなものなのかや、練習時間のこと、大会の参加や引率業務や責任の所在、そういった多くの部分がある程度分かれば、なるかどうか検討していきたいと考えています。今現在であれば、「その競技の指導をしたいかどうか」という判断基準しかないため、「悩んでいる」という回答にしました。

○地域人材が足りていれば任せたいし、足りていなければ微力ながら協力したいと考えているから。

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

Q6.地域移行を進めるうえで、競技団体等に確認しておきたいことはありますか？

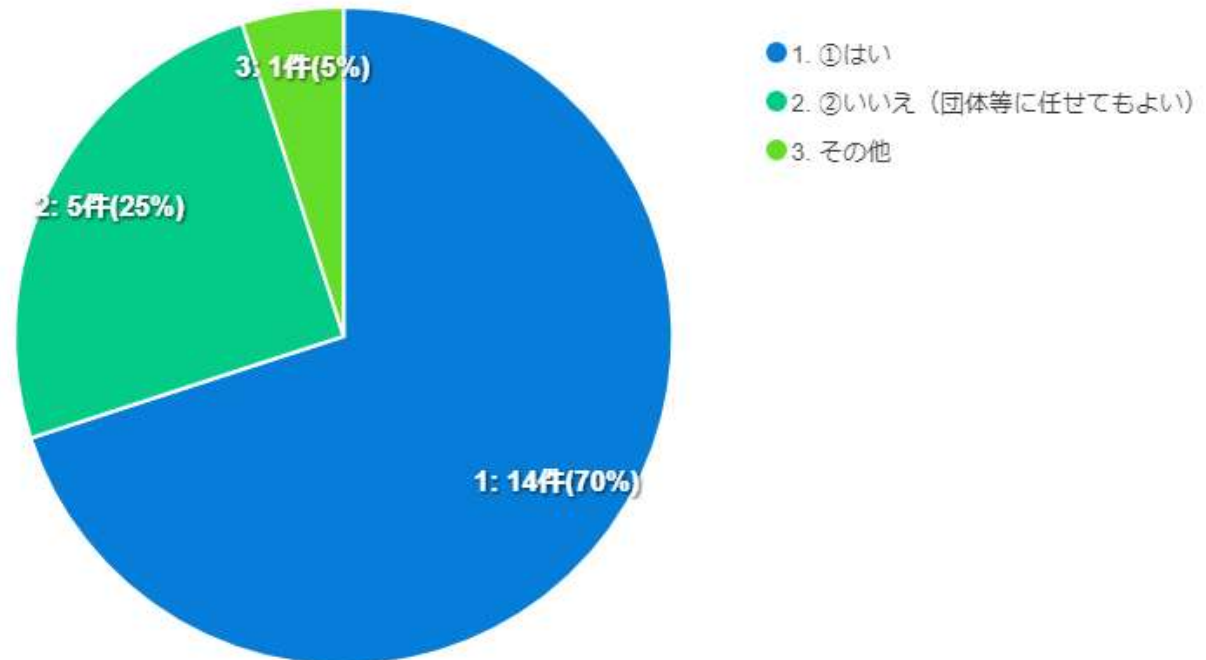
1	<ul style="list-style-type: none">・これまでの部活動を思うと、目標とする大会があって、それに向けた練習の過程で、多くの成長を求めることができたと思います。・競技団体として、目標とする大会は何か始まり、大会出場の際は市の補助を得られるか、会費、会場、練習時間、指導者への報酬など、確認すべき（すり合わせていく）ことは多くあります。
2	<ul style="list-style-type: none">・中体連で決められている規則によって設立する新団体(様々な形、団体の地域移行を考えると)が不利益を被らないか。大会に出場できない、上位大会に参加する権利がないなどの事態が起きないか事前に確認したい。
3	<ul style="list-style-type: none">・部活動の指導手当は、事実上なくなりますか？・無給でやるしかないのかもしれませんが、用具や遠征を考えると、全くのボランティアでは務まらないと思います。また、保険加入もとなるとさらにです。しかしながら、教職員は外部からお金を稼ぐことはできないはずなので、黙らないといけません。・学校の時ほど、不慮の事故等があっても責任を背負う部分が大きくなりますか？・リスクばかりが大きくて、踏み出せないのが実態ではないでしょうか？持続可能という点を考えるためには、こう言った問題がある程度解決しないと、先は見えてこないと思います。
4	<ul style="list-style-type: none">・部活動はこれまで、生徒指導的側面をもっていたと思います。地域クラブの活動になった際にその側面がどれだけ残るのが疑問です。ただ競技をすればいいというものにはしたくないと思っています。
5	<ul style="list-style-type: none">・練習開始時間や終了時間。学校生活(学習)との両立について。・生徒指導面。マナーや競技力以外で身に付けなければならない素養の指導について。
6	<ul style="list-style-type: none">・いつ頃に完全実施となるか？・ゴールもない、掲げている年度があっても実現しようとする大きな動きが見られないとすれば簡単に地域移行と言うのはやめてほしい。・様々なところから地域移行に向けた調査、アンケートばかりで体制が1本化されていないように感じる。保護者も子どもも混乱するし、間にいる教員としてとてもやりにくい。・受け皿となる団体のない地域はまだまだ先、もしくは地域移行できないのではとってしまいます。
7	<ul style="list-style-type: none">・練習用具の準備・練習場所の確保・指導者の確保・練習時間など

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（専門部）

Q7.移行した際に、休養日と活動時間の設定が必要と思いますが、スポーツ庁などが示すガイドラインと同様の設定でよろしいでしょうか？

【現行：①活動時間 平日2時間程度、休日3時間程度 ②活動休業日 週2日以上、土・日で1日以上、平日で1日以上（やむを得ず土・日の両日に活動した場合でも週2以上の休業日を必ず確保）③夏季休業中に1週間以上の連続した休業期間を設ける（大会出場の場合は例外）④第1・3日曜日の休業日



【その他】

○「週に2日以上 of 休養は確保する」のラインは変えずに、現行の②の土日の制限をなくす。
現行の③は競技団体に任せる。

(1) アンケート結果について

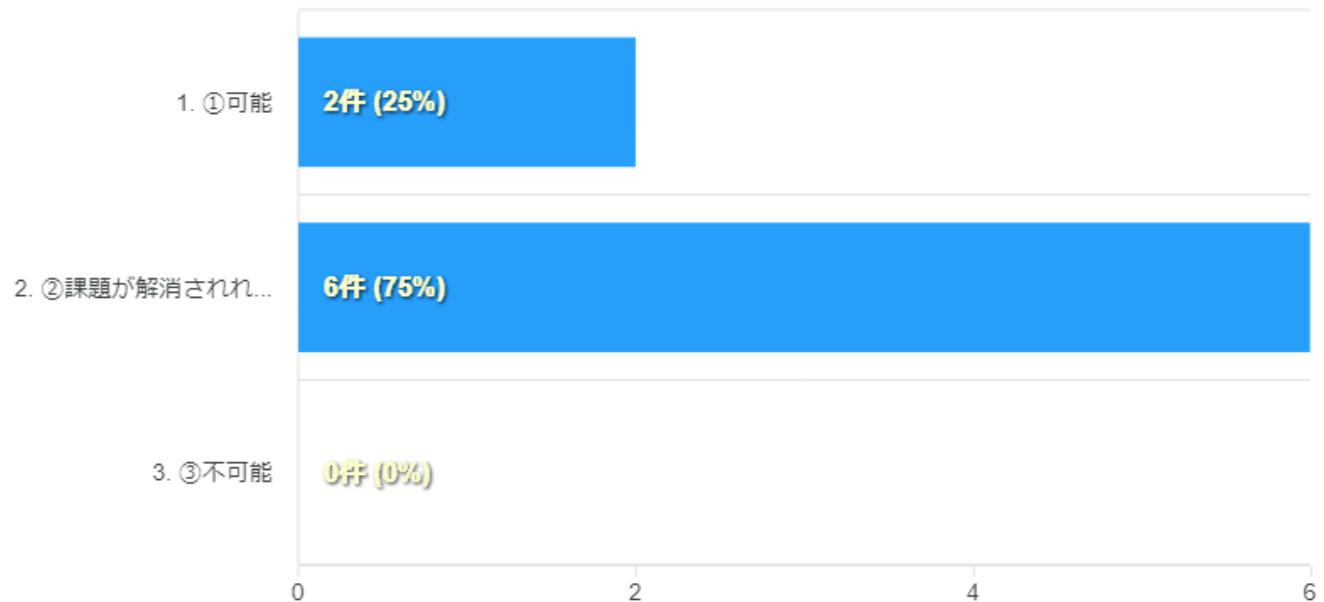
I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

期間：令和6年8月23日～令和6年9月20日

方法：オンライン回答または紙媒体での回答

対象・回答：【**競技団体**】回答 陸上、卓球、スキー、バドミントン、ソフトテニス、
バスケットボール、サッカー、バレーボール 計8団体

Q4.貴団体は、地域の受け皿として協力が可能ですか？



(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q5.貴団体が受け皿となる場合の課題は何ですか？

1	・教諭の活用ができれば協力可能
2	・練習会場 ・人材の確保 ・競技志向との両立
3	・活動費の徴収や指導者への支払い ・活動場所の利用調整や学校との調整 ・指導者は派遣できるが、事務処理は難しい ・会場までの移動
4	・時間帯とか経費等 ・指導者・日程 ・活動費の徴収や指導者への支払い ・活動場所の利用調整や学校との調整 ・指導者は派遣できるが、事務処理は難しい
5	・練習場所の予約と使用料 ・用具購入費 ・日時をまかせてもらえるか ・保護者対策 ・すべての責任について
6	・活動場所の利用調整や学校との調整 ・練習場所への輸送手段（保護者の送迎だけに頼るのは難しい。特に送り） ・指導者への諸経費の支払い ・現状の選手数を踏まえると、鹿角市で1つのチームにまとめるのは時期尚早と捉えている。 ・複数のチームを指導するとなると指導者の確保ができるか心配される
7	・所属していただける生徒さんの人数の不足
8	・受け皿となっても生徒が参加するのか ・活動費の財源となる会費や負担金の決定や徴収、指導者の報酬額など運営に関する必要条件等の決定 ・目標となる大会参加などの条件 ・現行の部活動との調整（指導方法、内容） ・完全移行となった場合のクラブチームの設立

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q6.貴団体が受入れる場合、受入れ可能な要件等ありましたら、記入してください

1	・小坂を含めた鹿角地区一帯での指導
2	・現在、鹿角市には2校しかなく、学区単位の2か所か、レベルごとの指導がよいか、わからない。
3	・会場までの送迎 ・会場整備
4	・各学校単位ではなく、一箇所に集めて実施 ・団体活動の中で、中学生も指導
5	・団体活動の中で、一箇所に集めて中学生も指導 ※各種大会が年間10数試合あり、中学生のみに指導は厳しい
6	・（戦術性の強い競技であるという特性上）一箇所に集めて実施すること。 ・（戦術性の強い競技であるという特性上）週末だけでなく、日常的な受け入れ。
7	・今現在も、クラブとして活動しているので、特に要件はありません。
8	・活動に対する必要条件、運営方法など、組織の意思決定 ・学校単位ではなく一か所に集めて実施（指導員が少ないため） ・目標となる大会等への参加

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q7.指導の際、現在考えられる不安要素はありますか？

1	<ul style="list-style-type: none">・平日に行われる部活動との指導の違い・仕事に影響がある
2	<ul style="list-style-type: none">・仕事に影響がある・指導者に対する報酬・用具などに係る費用
3	<ul style="list-style-type: none">・自分の時間が無くなる・指導者に対する報酬・家族との時間が無くなる・平日に行われる部活動との指導の違い・用具などに係る費用・仕事に影響がある・その他：各学校行事との兼ね合いで、練習日の設定日に不満がでないか
4	<ul style="list-style-type: none">・仕事に影響がある・自分の時間が無くなる・指導者に対する報酬・用具などに係る費用
5	<ul style="list-style-type: none">・自分の時間が無くなる・平日に行われる部活動との指導の違い・用具などに係る費用
6	<ul style="list-style-type: none">・指導者に対する報酬・用具などに係る費用・仕事に影響がある
7	<p>・その他：指導に関する事では無いかもしれませんが、年々少子化が進み、サッカーのような団体競技が、市の生徒さんだけで活動する事が困難になることが懸念されます。現在のサッカーの中学生年代は、練習は主に鹿角で行い、大会は大館市のチームに所属して参加していますが、人数によっては練習の質が下がる事もありますので、今後のメンバー不足が心配です</p>
8	<p>・その他：平日に行われる部活動との指導の違い、けが・事故等の責任の所在、指導できる人材の不足</p>

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q8.指導者に対する報酬についてお伺いします。

現在、部活動指導員に対する報酬が1,600円/hとなり、加えて費用弁償として交通費が加算されておりますが、それぞれの団体で基準とするべき金額を想定されていますか（例：資格更新費用、更新講習料、協会登録料など）

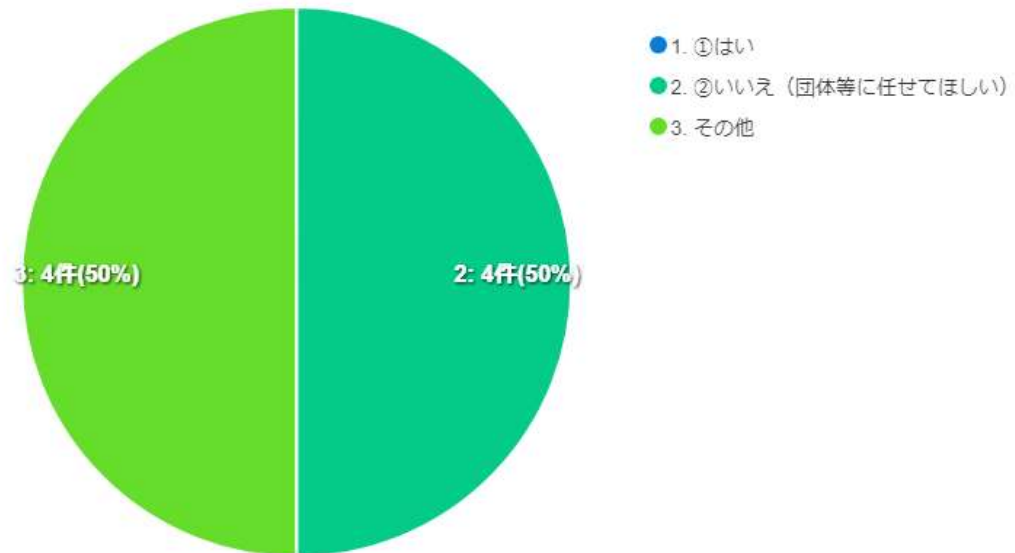
1	・想定されていない
2	・なし
3	・金額の想定はしてはいないが、練習内容人数より1日に必要な指導者が確保出来るかわからないので、全員分報酬が出せるかどうか？
4	・経験等無いので想定できず
5	・各種大会協力者には弁当のみ ・協会費は年3000円で運営している ・個人としては他に日本協会登録料2000円、ゼッケン購入代1000円、大会参加料は1大会1000～3000円位かかる ・資格を持っている人はスタートコーチ・スポ少・技術等級取得で30000円ほど支出している ・審判は6年更新3000円、スタートコーチ3年10000円
6	・まだ想定していない
7	・今現在報酬は頂いておらず、指導者の保険代と市外での活動の時の交通費を頂いております。それ以外に関しては想定しておりません。
8	・審判伝達講習会への派遣旅費の日当として5,000円/日、交通費として20円/kmを基準としている。そのほかの活動（市内大会運営等）についての報酬は無報酬としているため、報酬の決定が必要となる。

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q9.移行した際に、休養日と活動時間の設定が必要と思いますが、スポーツ庁などが示すガイドラインと同様の設定でよろしいでしょうか？

【現行：①活動時間 平日2時間程度、休日3時間程度 ②活動休業日 週2日以上、土・日で1日以上、平日で1日以上（やむを得ず土・日の両日に活動した場合でも週2日以上の上の休業日を必ず確保）③夏季休業中に1週間以上の連続した休業期間を設ける（大会出場の場合は例外）④第1・3日曜日の休業日



【その他】

○夜の受け入れはしない

○その月によっては週1回から月2回程度3～4時間（ジュニアに合わせる）

○概ねガイドラインと同様の設定で良いと思うが、中体連で定めている「第1・3日曜日の休業日」については見直していただきたい。（この取り決めは秋田県だけの取り決めであり、隣県（青森、岩手）との交流する場合に支障が出ているため）

○基本的には良いと思いますが、現在活動している中で、年間の試合スケジュールを組む時に第1・第3日曜日の休業日が、時々ネックになります。

(1) アンケート結果について

I 地域移行にかかる分科会意向調査（競技団体）

Q10.現状把握のため、学校や顧問の先生に確認しておきたいことはありますか？

1	・競技団体の会員として登録してもらい活動に参加してもらえるか。
2	・夏季の練習について、平日の日中は厳しいので、お願いできるか。
3	・家庭の理解度 ・普段の練習内容など
4	・保護者対策 ・特徴のある子供の情報
5	・現在、鹿角市内の中学校の部活動にサッカーは無いのですが、今後地域移行を進めていくにあたり、サッカーというクラブを生徒さんに案内していただく事はあるのでしょうか？
6	・アレルギーや精神的な配慮が必要な生徒がいる場合、どのように注意して対応しているのか。 ・保護者との関係性、役割、期待されていること

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等（案）
①休日等部活動の位置づけ	<p>1.いつまでに地域移行を進めるか</p> <p>2.平日の指導者と休日等の指導者はどのようなになるか</p> <p>3.平日も休日等も毎日指導に入る体制の構築は可能か</p> <p>4.土日のクラブ活動に参加しないで、平日の部活動のみ活動することはできるのか</p>	<p>→準備が整った部活動から段階的に地域クラブ等の活動に移行していく。休日は学校部活動はしない方向で進めていく。</p> <p>→平日の部活動は教員が指導し、休日等は外部指導者が指導する体制を整えたい。</p> <p>→まずは休日の体制を整えたい。</p> <p>→可能である。</p>
②練習場所	<p>1.練習場所の確保（学校施設の使用）はどうするのか</p> <p>2.練習場所までの送迎はどうなるのか</p>	<p>→スポ少と同様に学校施設の使用を許可する。（学校施設の開放に関する規則を改正予定）</p> <p>→できるだけ練習場所は各中学校を使用することとしたい。複数の学校の生徒を1か所に集約して練習する場合等は保護者対応をお願いしたい。</p>

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等(案)
③練習試合・大会参加	<p>1.休日等に行われる練習試合における指導者</p> <p>2.休日等に行われる大会における指導者</p>	<p>→地域移行後は、外部指導者が対応することとし、教員は希望によりボランティアまたは兼業で対応することになる。</p> <p>→中体連主催大会に参加する場合、現段階では、中学校として参加する場合は顧問が、地域クラブ等で参加する場合は外部指導者が対応することになる。なお、地域クラブ等が大会に参加するためにはその競技ごとに中体連に許可申請をすることになる。</p>
④上位大会への宿泊交通費等の補助	1.補助制度はあるか(移行した団体として上位大会へ出場する場合)	→各中学校の部活動に補助する鹿角市児童生徒派遣費補助金と、スポ少や地域クラブ等の活動に補助する鹿角市小・中学生大会派遣補助金で対応する。(必要に応じて見直しを図っていく。)
⑤地域移行の手法	<p>1.鹿角地域にふさわしい運営形態を構築してほしい</p> <p>2.今後のスケジュールはどのような予定となっているか</p>	<p>→様々なパターンが想定されるが、取組みが可能と見込まれる3パターンで検討を進めたい。</p> <p>→国が進めている「改革推進期間」の令和7年度までにある程度の見通しをつけるため、今後、モデルケースの検討を進めたい。なお、地域移行には部活動ごとに指導者の確保など課題があるため、事情に配慮しながら進めたい。</p>

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等（案）
⑥地域移行化に必要な財源と費用	<p>1.国や県からの支援はあるか</p> <p>2.市から地域移行にかかる団体への支援はあるか</p> <p>3.部活動指導員は継続配置できるか</p>	<p>→体育館を単独使用可能とする学校施設の改修への補助、部活動指導員の配置への補助等があるが、地域移行にはそのほかにも経費がかかることから、財政的な支援を要望している。</p> <p>→受益者負担を原則としながら、市ができる支援について検討を進めたい。</p> <p>→部活動指導員は、今後も国・県に継続して要望予定。（国・県補助制度による部活動指導員の配置は令和7年度までとなっている。）</p>

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等（案）
⑦外部指導者の資格	<p>1.指導者資格はどのようなものが必要になるか</p> <p>2.保護者がスポ少で取得した指導者資格は、子どもの小学校卒業にあわせて更新せずに辞めてしまう傾向があり、更新が課題となっている。まずは、指導者資格制度の周知が必要ではないか</p>	<p>→現段階では、中学校部活動の地域移行後の指導者に必要な資格については、具体的に挙げられていないが、公益財団法人日本スポーツ協会では、「公認スポーツ指導者」と「スタートコーチ」の資格がある。そのほか、公益財団法人日本スポーツクラブ協会の「学校運動部活動指導士」の資格がある。適切な指導という観点から、これらの資格取得が望ましいと考える。</p> <p>吹奏楽については特に資格はないが、専門的な指導の知識・技能が必要となる。</p> <p>→スポーツ指導員等養成補助金で資格取得費用について支援しており、今後においても各スポーツ団体を通して周知を図っていききたい。</p>

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等（案）
⑧危機管理と責任の所在	1.クラブ等で休日等の練習時に事故が発生した場合、学校への連絡はどのようにするのか 2.保険等の対応はどうか	→学校管理下ではないが、事故発生時は、学校で設定した連絡先（部活動の顧問等）に連絡してもらう必要がある。 →クラブ等活動中は、学校の管理下ではないため、学校で加入している保険が適用にならないことから、クラブ等で加入している保険を適用してもらうことになる。
⑨平日と休日等の指導方法の相違	1.外部指導者は、平日の部活動顧問との綿密な意思疎通が必要ではないか	→顧問と連携し、部活動とクラブ等活動とを合わせた活動日、活動時間等の設定を行うとともに、指導方針の調整を図る必要がある。
⑩団体活動会費	1.クラブ等の団体を設立した場合、その活動費はどのようにするのか 2.土日の外部指導者への報酬や保険料等はどのようにするのか 3.会費負担による保護者負担が増えることになる。市からの支援はあるのか	→クラブ等活動費は原則として受益者負担を想定していることから、クラブ等が定めた会費により運営を行うことになる。 →保護者が納入する会費から支払っていただくことを想定している。 →生徒が望む活動ができるようにするため、困窮世帯を含め、どのような支援ができるかについて、今後、検討を重ねていく。

(2) 地域移行に向けた問題点について

課題	提案・意見	対応等（案）
⑪指導者不足	1.外部指導者はどのようにして確保すればいいのか	→まずはアンケート結果の分析を行い、外部指導者が各競技の指導に携われるように指導できる団体の現状把握と指導者リストの整理等を進めていく。
⑫活動に必要な資材の経費負担	1.活動に必要な資材の整備費等はだれが負担するのか	→学校の管理下にあるものについては、市が工事や修繕等で直接実施することになる。 また、学校で準備してある備品については、学校の許可を得て使用していただくことを想定している。
⑬中体連主催大会への参加資格	1.中体連主催大会への参加資格として、令和5年度において、バスケットと剣道（団体）については、「自治体主導で地域移行を進めるために発足した団体」とあるが、次年度はどのようになるのか ※卓球（団体）は、学校部活動が地域移行されたスポーツクラブに限定	→現段階では、中体連主催大会の参加資格について、来年度の要件が公表されていない現状にあるため、まずは今後の要件についての情報収集を進めたい。

(2) 検討委員会への報告について

1. 地域移行への不安や懸念、課題等

- ①地域の指導者の立場や処遇
- ②トラブルが起こった際の責任の所在
- ③活動費の徴収や指導者への支払い
- ④活動場所の利用調整や学校との調整
- ⑤指導者は派遣できるが、事務処理は難しい
- ⑥活動費の財源となる会費や負担金の決定や徴収、指導者の報酬額など運営に関する必要条件等の決定
- ⑦平日に行われる部活動との指導の違い
- ⑧用具などに係る費用

(2) 検討委員会への報告について

2. 活動基準について

- ①第1・3日曜日の休業日については、秋田県独自の取り決めであるため、見直していただきたい

3. 地域移行への理解について

- ①専門部及び競技団体への理解が必要不可欠であるため、会員が集まる総会などを通じて周知が必要